

# 第33回総明会総会開催

10月18日(土)午後4時50分開場

## 総明会会報

発行

明治中学・高等学校同窓会  
〒101 千代田区猿樂町2-4-1  
明治大学付属明治高等学校内  
TEL (03) 3296-4555  
発行人/専務理事三浦昭生  
編集/昭和45年卒同期会

### 第33回総明会総会 式次第

- 一、開会の辞
  - 二、会長挨拶
  - 三、議長・書記選出
  - 四、議事  
議案第一号  
会計・事業報告  
議案第二号  
会計・事業予算  
議案第三号  
役員選出  
議案第四号  
その他
  - 五、閉会の辞
- 以上

来たる十月十八日(土)、東京プリンスホテルにおいて、第三十三回総明会総会および懇親会が開催されます。

今回のホスト学年は昭和四十五年卒同期会(獅子の会)が務めさせていただきます。皆様におかれましては、最近の様に激動と変革の時代に気持ちを休める余裕も少ないとは存じますが、年に一度昔にかえり、心身をリフレッシュさせるの一助になる事を希望し、精一杯ご接待させていただきます。

懇親会では、新車が当たる楽しい催しも用意しております。この機会に是非、ご学友としてご家族をお誘いあわせの上、お出かけください。ホスト学年一同、心よりお待ちしております。

### 笑顔

私が仕事を選ぶ時には、次のどこに当てはまる仕事なのかを考えてから引き受けることにしている。

①好きでなんとしてもやりたい仕事

②あまり好きではないが将来のためになる仕事

③ギヤラがいい仕事

④義理があるので断れない仕事

①ばかりなら問題ないのだが、どうしても②や④も入ってくる。

CMを引き受ける理由の一つには、必ず③は入るだろう。一番辛いのは④である。テレビ局やスポンサー、あるいはプロデューサー個人との関係でやらざるを得ない仕事である。自分の所属している事務所の他のタレントを助けるために、引き受ける時もある。

こういう番組に出演する時に「本当に嫌だな、早く終わってくれないかな」と思っていると、すぐ顔や声や態度に出てしまい、ブラウン管を通してお茶の間に伝わってしまう。テレビを見ている人は、当然仕事を引き受けた時の事情など知らない。だからこういう時こそ、いつもよりテンションを上げてがんばるの



昭和45年卒  
「獅子の会」  
三宅裕司

である。そうすると、嫌な番組だ、と自分で決めつけていたことが見えてきて、新たな気持ちで番組を楽しめるようになる。

とにかく我々の仕事は、それを楽しんでいる自分でなくちゃダメなのである。

そして、こんな時にいつも思いつくのが、中学・高校時代の自分である。好きなスポーツをやって、好きな本を読み、好きな映画を観て、好きな音楽を聴いていた。きつと生き生きとしたいい顔していたんだろうなあ、と思う。

今、四十代も半ばを過ぎて本当に感じるのだが、仕事のために観たり聴いたりするものよりも、昔本当に好きでやっていた事の方が、驚くほど細かい所まで覚えていて、自分の知識として血や肉になっている。

もう高校時代には戻れないのだから、歳をとった分、せめて自分の気持ちぐらいいは、いつでも青春できるようにコントロールしたいのである。

いつだったかある番組で、歌手の山田五十鈴のりさんが言っていた。「趣味で音楽をやっている素人さんにはかなわない。俺達プロには、あの笑顔はまねできない」。

いい人生はいい笑顔についてくる。

### 総明会

1959年開催の第20回総会で命名された。初代校長の鶴澤総明先生のお名前をいただき、かつ、明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。



### 積水ハウスの信頼と木の優しさと 高性能木造住宅「シャーウッド」

～アパート経営・定期借地権など土地活用の提案も致します。～



SEKISUI HOUSE

積水ハウス株式会社

千葉東シャーウッド住宅営業所

☎043(297)2424

〒261-71 千葉市美浜区中瀬2-6 (WBGマリブウエスト26F)

建設大臣免許(10)第540号 建設大臣許可(特-7)第5295号

昭和45年卒 野上 昇一郎



総会によせて



長政男 明政男  
総向殿

今年もまたバトンが渡されて、昭和四十五年卒(桐子)の会をホスト学年として総明会の総会が開催される運びとなりました。会員の皆様も、その年のホスト学年の趣向や工夫を、毎回楽しみに総会に参加されていることと存じます。

皆様御存じのとおり、それを支えるその年のホスト学年のこの努力は毎年大変なもので、頭の下がる思いがいたします。基本的には一生に一度しか回ってこないホスト学年ではありますが、いざとなるとその学年の会長を中心に必ず何人もの有志が現わ

総会によせて



長章生 校崎  
石崎

第三十三回総明会総会を心からお祝い申し上げます。いよいよ二十一世紀まであと千日余りとなり、新しい時代に即した教育が模索され、第十五期中央教育審議会でも教育改革の提言がなされてきています。

この様な中であつて私学では、私学として建学の精神のもと特有な教育環境をつくり、それを最大限に活用して、特長ある教育を行うことに一層その存在の意義があると考えます。

振り返ってみると、明中高の教育は初代校長・鶴澤総明先生以来明治大学の建学精神「独立自治」を受け、質実剛健の校

れて、ついにまごころの意気は、明らかに明治高校魂であり、明治高校の伝統であります。

そして、立派な総会・懇親会に仕上がっているのを見ると、驚きを感じると共に、我が母校の卒業生に誇りを感じるの、私だけではないと思います。普段は気づかずにいますが、実際には、素晴らしい卒業生が非常に多くいるということに、毎回驚かされます。他の同窓会が総明会をうらやむ所以であります。

学校は何で評価されるのでしょうか。良い教育が行われている、良い教師がいる、良い生徒がいる、良い建物や設備がある等いろいろあるかもしれませんが、良い卒業生がいるということにはかなえません。

卒業生こそが学校のアウトプットであり、最終的には、卒業生がその学校の評価を決める事は間違いないと思います。(ついでに

風の中で「国家社会に有為な人間の育成」を目指し、知・徳・体の調和のとれた教育を実践してきています。その結果、幾多の優秀な人材を世に送り出し、社会的に高い評価を得ていることは、本校の教育の大きな誇りです。

しかるに急速に変化する社会は、それに対応する学校教育を求めていることも、また必然的な流れであります。

明治大学では、学長が教育基本計画策定の一つとして「付属校の活性化に関する検討委員会」を設置し、付属校教育の充実と活性化について検討を始めています。検討にあたっては、「条件をあらかじめ規制しない

で自由に」、「最も大事なことは、付属校との信頼関係を築くことである」とのコメントがありますので、付属校としてはその検討に積極的にかかわり、協力していく所存であります。

勿論、明中高の教育について

いうならば、卒業生にとって学校は常に心の故郷であり、卒業生は現役の生徒にとつての目標です。この意味からも、毎年のホスト学年のまじりと活躍を見るにつけて、我が母校明治高校は高く評価されてしかるべきであります。

最近はこの学校でもいわれていることですが、卒業した学校に対する求心力が希薄になりつつあると聞きます。これが時代の傾向としても、我が明治高校の卒業生にあつては、総明会を通して母校に対する思いを強くし、団結しようではありませんか。そして、母校が高く評価されるように、また現役の生徒の目標になるように卒業生としても心しなくてはなりません。

総明会(総ての明治の会)の名が示す如く、母校と共に卒業生同士が手を結べば、こんなに心強いことはありません。

は、鶴澤先生以来の精神が、長い本校の教育の中に伝統として息づいてきたものであり、それは変えられないものであり、変える必要もないと考えます。

しかし、教育内容や方法は、時代の推移とともに変えることは避けられないことであり、変えることは止むを得ないこととして実践してきたところです。

ここ十数年来、大学や評議員会で明中高の教育環境改善が議論されてきておりますが、この機会に解決の方向が見出され、改善できればと念じております。

卒業生の皆様には、これらの動向を視野に入れ付属校の在り方を構想していただき、明中高にご意見をお寄せくださることが重要かと考えております。よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

終わりになりましたが、総明会の皆様の益々の発展ご活躍を祈念いたします。

平成九年度  
総明会役員

名誉会長 坂本朝一 (昭和九年卒)	名誉顧問 片岡龍夫 (大正一〇年卒)	会長 向殿政男 (昭和三六年卒)	副会長 山浦晟暉 (昭和二九年卒)	副会長 山崎敬生 (昭和三二年卒)	専務理事 三浦昭生 (昭和三八年卒)	監事 小林昭雄 (昭和二一年卒)	監事 石崎章生 (昭和二六年卒)	監事 高橋信雄 (昭和三〇年卒)	監事 大場隆之 (昭和四一年卒)	事務局長 尾島育四郎 (昭和三八年卒)	組織部長 増田利明 (昭和三七年卒)	事業部長 高村光昭 (昭和四二年卒)	結城康郎 (昭和四〇年卒)	クラブOB会部長 阿部正行 (昭和四九年卒)	学校代表 栗野哲也 (昭和三六年卒)	事務局局長補佐 谷正之 (昭和四四年卒)	事務局広報部長 服部雄二 (昭和四四年卒)	組織部副部長 家中勉 (昭和四四年卒)	組織部副部長 長棟良元 (昭和四〇年卒)	事業部副部長 米山広昭 (昭和四五年卒)	山形英明 (昭和四五年卒)	クラブOB会副部長 比留間竹郎 (昭和四五年卒)	事務局書記 菊池博道 (昭和四一年卒)	事務局書記 原田繁 (昭和四四年卒)	財務部会計担当 関谷芳久 (昭和四四年卒)	事業部副部長 金子敏一 (昭和四六年卒)	会旗担当 伊藤茂雄 (昭和三一年卒)
-------------------------	--------------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------	------------------------------	--------------------------	----------------------------	-----------------------------	---------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------	--------------------------------	---------------------------	--------------------------	-----------------------------	----------------------------	--------------------------

明治大学理事長  
岡村了一

明治大学総長  
栗田健

明治大学学長  
戸沢充則

明治高等学校校長  
石崎章生  
明治中学校校長

昭和三六年卒業  
総明会会長

明治大学理工学部教授  
明治大学校友会副会長  
向殿政男

昭和四一年卒業  
総明会理事・事務局局長  
三徳印刷(株)

尾島育四郎

昭和二九年卒業  
総明会副会長  
(株)東京富士力ラー  
代表取締役社長

山浦晟暉

昭和三七年卒業  
総明会組織部長  
高村製罐(株)  
代表取締役

高村光昭

昭和三三年卒業(明治会)  
総明会副会長  
市原企業株式会社  
代表取締役

山崎敬生

昭和四〇年卒業  
総明会クラブOB会部長  
上陽電設(株)  
代表取締役

阿部正行

昭和三八年卒業  
総明会専務理事  
(有)三浦屋

三浦昭生

昭和三七年卒業  
総明会理事・組織副部長  
(株)合同  
代表取締役社長

長棟良元





## 平成8年度活動報告

専務理事 三浦 昭生

総明会は本年度、平成九年三月十日の卒業式で新たに二二五名の会員を迎えました。母校の卒業生は旧制・新制合わせ約一万五千名です。

主管と担当するホスト学年との連携で、総会の開催や在校生へのパブリシティの発行、卒業して日の浅い若手幹事との顔合わせ、PTAや白鷺会のご協力をいただくゴルフ大会等の事業や名簿管理・会計管理、各学年代表で構成する評議員会の年三回の開催等の日常活動は、尾島事務局長を中心に増田財務部長、高村組織部長、結城事業部長、阿部クラブOB会部長の各部門長の統括のもとで進められております。

また、正・副会長ならびに役員は、入学式・体育祭・文化祭・新入会員のための説明会・卒業式などの母校の行事および、明治大学付属中野高等学校校友会「武蔵会」総会等に参加いたしました。

総明会はPTAの皆様に、事務職員のことをはじめ「総明会会報」や在校生へのパブリシティ「M」への広告、ゴルフ大会への参加などで大変お世話になっております。そこで、PTAと総明会の相互理解を深めようと、PTA役員の方々と懇親な茶話会の開催やバザーへの協賛をいたしました。

なお、本年も十一月二日・三日の両日開催の母校文化祭(紫紺祭)でバザーが行われます。会員や兄弟の会社の商品や贈答品がある場合は家庭の不要品などを提供ください。賛同いただけ

る方は、明治高校内栗野哲也先生宛に宅急便にてお送りください。ご協力をよろしくお願いし、あわせて母校文化祭へ出席いただけるようご案内いたします。

昨年の会報にてもご案内いたしました。総明会は東武トラベルと提携いたしております。内容は会員および会員の紹介等により発生した団体旅行(国内・海外どちらでも)の旅行費用総額の2%が総明会に還元されます。同期会の旅行および社内旅行や家族旅行にご利用ください。詳細については事業部の山形英明君(自宅：〇四七三・五三三・二二五四七)にお問い合わせください。

総明会は、母校やPTAなど多くの皆様のご指導ご協力と大先輩方のご努力により会として成長発展し、この十月十八日には三十三回総会を迎えることができました。今、現状を考え、向後会長が常に話しておられる「二人でも多くの卒業生が参加し、参加した皆が、面白く感じ、参加したい」とある総明会にするためには、財政、組織、名簿、事業内容、総会・懇親会のあり方、広報についてなど再検討すべき時期だと思っております。会員の皆様の協力を得て、一つずつ解決してまいりたいと思います。

## 平成8年度会計報告

総明会会計 関谷 芳久

皆様のご協力により、次年度繰越金が五百万円を超える事ができました。ありがとうございます。ただし、年度会費の収入が年々少なくなっておりますので、年度幹事や会計の皆様には、一層のご努力をお願いいたします。

予定しております名簿発行には多大な費用がかかると思っておりますので、今後とも皆様のご協力を願ひし、平成八年度会計のご報告をさせていただきます。

### 第32回 総明会 総会会報特別会計報告 平成9年1月22日

収入の部		支出の部	
	実績		実績
総会会費収入	1,633,000	総会関係費	4,040,865
広告掲載料収入	2,067,000	会報関係費	2,662,731
寄付金	2,880,000	事務費	201,999
その他収入	402,200	剰余金	76,605
合 計	6,982,200	合 計	6,982,200

### 総明会 平成9年度予算 平成9年4月1日～平成10年3月31日

収入の部		支出の部	
	実績		実績
前年度繰越金	5,063,450	会議費	500,000
平成9年度会費	350,000	通信費	100,000
新会員入会金	2,400,000	事務・印刷費	1,200,000
名簿売上金	50,000	公用費	550,000
雑収入	250,000	活動費	1,100,000
「M」広告収入	480,000	次年度繰越金	5,143,450
合 計	8,593,450	合 計	8,593,450

### 第33回 総会会報特別予算

収入の部		支出の部	
	実績		実績
第33回 総会会費	2,670,000	会場関係費	2,870,000
第23号 会報広告料	3,600,000	会報関係費	3,200,000
		事務費	200,000
合 計	6,270,000	合 計	6,270,000

### 総明会 平成8年度会計報告 平成8年4月1日～平成9年3月31日

収入の部		支出の部	
	実績		実績
前年度繰越金	4,379,804	会議費	171,659
平成8年度会費	285,000	通信費	5,776
新入会員入会金	2,250,000	事務・印刷費	1,187,805
名簿売上金	28,000	公用費	250,300
「M」広告収入	480,000	活動費	606,020
東武トラベル	170,293	「M」活動費	480,000
雑収入	209,262	雑費	39,616
預金利息	2,267	次年度繰越金	5,063,450
合 計	7,804,626	合 計	7,804,626

上記の通り報告致します。

平成9年3月31日

会長 向殿 政男

会計 関谷 芳久

監査の結果相違ありません。

平成9年3月31日

監査 高橋 信雄

大場 隆之

## 「総明会事業部からのお知らせ」

九十七年度は、総明会事業部では三つの催しを開催させていただきました。以下、各催しをご案内いたします。なお、ご参加申し込みおよびお問い合わせ等につきましては、

総明会事業部長 結城康郎 〇三三五・六二二五  
事業部副部長 山形英明 〇三三四・三二二五  
事業部副部長 金子敏一 〇三三五・二二五五  
までご連絡ください。

### ① ハゼ釣り大会

九月十七日(土)、東京湾に船を浮かべてハゼ釣り大会を開催します。

当日は、浅草橋の船宿「田中屋」を午前出発。費用は昼食・道具・エサ代込みで一人一万二千円(子供七千円)です。太公望でもヒギナでも楽しめます。ご家族での参加も歓迎いたします。

### ② 総明会 記念講演

十月十八日(土)、第三十三回総明会総会が開催されます。事業部といたしましては、総会(午後五時)に先立ち、総明会の名譽顧問であられる片岡龍夫氏(大正十年三月卒、旧制明治中学校第五回卒業生)に記念講演をお願いしております(午後四時・四時四十五分)。

片岡先輩からは「明治高校を思う」というテーマで様々な過去の出来事、後輩に残したいという「伝説」の心をお話しいただく予定です。なお、当日は片岡先輩の意向により演台はなく、ご参加の皆様とは向かい合って座談会形式でお話しくださるということです。

### ③ 長野オリンピック観戦ツアー

一九九八年一月に、長野オリンピックが開催されます。総明会では、二月十四日(土)、十五日(日)の二泊三日で観戦ツアーを開催いたします。

競技のチケットは、既に十五日(日)の〇ジャンプ・ラージヒル決勝を確保しており、現在は十四日(土)のチケットを用意しております。

オリンピックの競技を、直に見る機会はそれほど多くはありません。是非、お子様も含めてご参加ください。なお、貸切バス(東京出発・解散)で行動します。

# 特集 ● 「過程」にみるクラブ活動の変遷

前号の報明会誌では「明高新聞にみる明高今昔」と題して、I部頭髪、制服、I部トビックスという内容が特集されました。本号では「過程」でみるクラブ活動の推移を表にまとめてみました。ご自分の所属したクラブ名を見いだし、学校生活の思い出にしたい方は幸いです。

まず、表を二覧になる前に、「過程」以前のクラブ活動について、明治高校六十一年のあゆみより抜粋して簡単に解説いたします。

## 「過程」以前

### ☆ 創立〜大正期

当校は御存知の通り、明治四十五年旧制明治中学校として創立されました。当時は、クラブ活動としては何も無かったようですが、創立後も剣道、柔道が正課として存在していたようです。

最も古いものは大正八年創部の剣道部、次いで大正十年の山岳部(旧制中学山岳会と称していたようです)、大正十一年に相撲部、水泳部、籠球部が創設されました。音楽部や美術部のような文化系クラブは、質実剛健でないという事で学校側より許可されませんでした。

しかし、大正十五年の学生会誌には、雑誌部、剣道部、庭球部、蹴球部、競技部、籠球部、山岳会と共に美術部の七部一會が活動していると掲載されています。

この内、雑誌部は現在の生徒会の「過程」編集委員と新聞部をあわせたような存在であったようで、「過程」と同じ様な「学生会誌」を発行していました。ここで驚くのは、蹴球部の名がある事です。既にサッカー部があったとは……(排球部の誤植ではと思ったのですが)。

### ☆ 昭和初期(戦前)

昭和二年頃、運動部は増減無く、加えて文学、カメラ、絵画(美術か?)等の同好会的存在が認められています。

昭和六年、田無グラウンドが整備され、六月十九日、本校が「東京府中学野球聯盟」に参加、これにより本校野球部が正式に誕生しました。

### ☆ 戦時中

昭和十六年七月、文部省より各学校に報国団を編成するよう指示があり、旧制明治中学も全明治大学の一環として報国団を結成、今まで発行していた「学生会誌」も「報国団誌」と改称、併せて各クラブも「部」ではなく報国団の「班」と呼ぶようになり、発行機関の雑誌部は文芸班となったようです。

しかしながら、「報国団誌」も昭和十八年第二十六号を以て、月二十四日明治中学航空部が全

国の中学校に先駆けて創設された事は特筆に値するでしょう。

戦況悪化、物資不足により休止となり、正課に値するでしう。

当然、クラブ活動は運動部のみであり、軍事訓練の一環として、引続き正課であった柔道、剣道のほか、空手等の武道系が若干あったようですが、その後の記録が無くとも、敗戦に向かい事実上、部活動はできない状況であった事は容易に想像できます。

### ☆ 戦後期

戦後の混乱の中、生徒会本部や各運動部、文化部の再建は少しずつ進められていきました。

「過程」創刊前の大きな節目を

見てみますと、

◇昭和二十一年六月五日  
生徒大会が開催され、各部再建に向けて生徒自身の手により、正規に出席する事が確認された(会場入り口には「教師の介入を許さず」と墨書されていたそうです)。

◇昭和二十四年  
生徒会会則制定により生徒会が正式に発足。この間、各班、各クラブ規定も承認。

### 「過程」から見たクラブ変遷

本校のクラブの活動は、母校

の会議室にあるおびただしい数のトロフィー、表彰状などをご覧になればおわかりのように、各種大会や発表会にて優秀な成績を多々修めており、本来ならば、各クラブ毎にその記録を掲載し栄誉を讃えるべきです。

また、各部のエピソードなども載せたいと思いましたが、紙面の都合上、変遷のみを「過程」創刊以降について表にまとめてみました。

各部の成績や発表内容については、是非とも図書館に備えてある「過程」をご覧ください。その中で、特記すべきものを述べてみます。

◇第五号(昭和三十一年)  
風紀班が発展的解散をし教育

宣伝班に組み込まれた。

◇第六号(昭和三十一年)  
良田喜久男校長が教育方針と学力向上のため校長令として、

1. 設立年の来印は、おおよそ昭和二十二年〜二十四年頃の間と推測されます。

2. 設立年に年記入りの無いものは「過程」第一号に記載されているものです。各クラブの歴史は、各号毎にご覧いただけますが、本号ではあくまで「過程」を中心にとりあげてみましたので、伝統の各部内におかれましては、多少の差異があると思います。この段、よろしく御了承の程、御願い申し上げます。

## 表の見方

## 生徒会本部および班

設立年	設立時名称	変遷	平成9年4月現在
※昭和21	生徒会	昭和21年6月生徒大会、昭和24年生徒会規約制定により正式発足	生徒会本部
※	衛生班	昭和54年休止	
※24	応援指導班	昭和34年吹奏楽部設立、吹奏楽班として35年創立	応援指導班
※	新聞班		新聞班
※	放送班		放送班
※	図書班		図書班
※24	風紀班	(生徒会司法機関)→昭和30年生徒会本部内統制委員会に参画、31年教育移行のための発展的解散	
30	教育宣伝班	(生徒会活動の教育機関)→昭和31年風紀班吸収、54年休止	
34	吹奏楽班	昭和35年班として独立	吹奏楽部
43	少年消防クラブ	(愛好会として認可)→昭和51年少年消防班として認可、平成2年休止	

## 運動部系クラブ

設立年	設立時名称	変遷	平成9年4月現在
大正8	剣道部	昭和21・28年剣道愛好会→29年剣道部へ復格	剣道部
※	柔道部	→32年三都合併・武進部→34年各部設立→57年休止	柔道部
11	相撲部		
10	山岳部	(通称 山岳会) 昭和54年中学山岳部を分離、高校山岳部と改称	高校山岳部
昭和54	中学山岳部	昭和54年独立創部、61年休止	
大正11	水泳部		水泳部
11	蹴球部		サッカー部
15	庭球部		軟式庭球部
15	蹴球部	休止(平成7年有志サッカー部として復活)	
※	陸上競技部	昭和32年休止、平成6年復活	陸上競技部
昭和6	(旧制) 中学野球部	昭和22年学制改革により中学、高校と分離	中学野球部
※	高校軟式野球部		高校軟式野球部
※	高校硬式野球部	昭和22年学制改革により創部	高校硬式野球部
※	排球部		バレーボール部
※	卓球部		卓球部
※	スキー部		スキー部
昭和26	アイスホッケー愛好会	東京都大会出場につき愛好会正式認可、43年休止	
28	護身道愛好会	拳法愛好会または空手愛好会から次第に空手色が濃くなり、34年休止	
28	フェンシング愛好会	昭和28年愛好会正式認可、39年部へ昇格、57年休止	
51	バドミントン愛好会	昭和54年部へ昇格	バドミントン部
平成7	有志サッカー部	平成8年部へ昇格	サッカー部

## 文化系クラブ

設立年	設立時名称	変遷	平成9年4月現在
※昭和21	弁論部	昭和31年部員不足、休止	
※22	文芸部	昭和32年国文研究会へ合併	
※22	国文研究会	昭和32年文芸部吸収と共に国文研究会と改称、平成3年休止	
※	東洋文化研究会	昭和30年東洋研究会と改称、39年休止	
※23	歴史研究会	昭和31年歴史研究会と改称	歴史研究部
※	地理研究会	昭和31年地理研究会と改称	地理研究部
※	数学部	通称は数学部、31年休止	
※	化学部	→昭和30年合併、化学部となる→32年合併、理科部となる→42年独立	化学部
※	物理部		物理部
※	生物部		生物部
※	音楽部	昭和39年マンドリンクラブと改称	マンドリン部
大正15	美術部	→昭和32年合併、美術演劇部へ(演劇部の要素が薄れ昭和60年代に通称・美術部)	美術部
※	演劇研究部	昭和30年休止、49年演劇技術愛好会として復活、54年部へ昇格	演劇技術研究部
※	英語研究部	昭和20年代英語部	英語部
※	商業研究部	昭和32年商業研究部と改称、平成8年休止	
※	写真愛好会	昭和31年写真部へ昇格	写真部
昭和34	書道愛好会	昭和36年書道部へ昇格	書道部
35	合唱部	昭和45年休止	
37	J.R.C	→合併しJ.R.C・I.A.Cとなる。その後I.A.Cは休止	J.R.C
40	インターアクトクラブ		インターアクト部
41	読書愛好会	昭和54年部へ昇格	読書部
42	聖書講読会	昭和45年休止	
42	天文愛好会	昭和54年部へ昇格	天文部
43	ボイスカウト愛好会	昭和54年部へ昇格、平成3年休止	
44	将棋愛好会	昭和54年部へ昇格	将棋部
50	コンピューター愛好会	54年部へ昇格	コンピューター部
48	時空研究愛好会	昭和52年時空愛好会と改称、54年部へ昇格	時空研究部
48	ハングル研究部	休止	
50	アウトドアスポーツ愛好会	昭和54年部へ昇格、その後休止	
50	園芸愛好会	昭和54年部へ昇格、その後休止	
50	奇術愛好会	休止	



不活発なクラブの整理、活動類  
似クラブの統合を指示された。  
この結果、文化部系では、科学部

(それより前に化学部と物理部  
の合併により科学部となる)と  
生物部が統合され①理科部、演  
劇部と美術部が統合され②美術  
演劇部、文芸部と国文研究部が  
統合され③国文研究部、④東洋  
研⑤歴史⑥地理⑦音楽⑧英語  
⑨商研⑩写真の各部となった。  
運動部系では、柔道、剣道、相撲  
が統合され①武道部、山岳部と  
スキー部が統合され②山岳ス  
キー部③中学野球部④軟式野球  
部⑤硬式野球部⑥排球部⑦卓球  
部⑧バスケ部⑨水泳部⑩庭  
球部と、文系十部、運動部系十部  
になり、他クラブは廃止ある  
いは愛好会へ降格となりました。  
しかしながら、多少の無理があ  
ったようで、特に運動部系では  
いくらか統合されても練習方法  
が違ったり、まもなく各部が独立  
したのは当然の結果だと思います。  
◇第十六号(昭和四十二年)  
文化祭を「藝術祭」と命名。  
◇第二十二号(昭和四十八年)  
文部省学習指導要領改訂に伴  
い、いわゆる課外活動としての  
部活動とは別に「必修クラブ」  
が正規の授業として教育課程に  
組み入れられる。

現在、表にあるように五期  
十七文化部十五運動部であり、  
その他の愛好会、同好会が存在し  
ません。文化系で活躍した弁  
論部、演劇部、東洋文化研や商  
研、運動部系では相撲部、フエ  
ンシング部、アイスホッケー等  
々、当校の伝統あるクラブが休  
止状態なのは寂しい限りです。  
しかし、その一方でコンピュ  
ターや詩吟、バトミントンやサッ  
カーなど比較的新しいクラブの  
創設、復活した陸上競技部など、  
今後の楽しみもあります。  
会員各位の、現役各クラブへの  
御支援をお願いいたします。本  
特集とさせていただきます。

## 卓球部に各種練習用具を寄贈

## 明高卓球部OB会

平成九年五月二十四日、明高  
卓球部OB会は、母校卓球部に  
各種練習用具を寄贈しました。

贈呈式は同日午後一時四十分  
から格技室で行われ、大雨にも  
かわからず多数の方々が出席さ  
れました。学校側からは石崎校  
長先生および卓球部顧問の星  
野、副顧問の下野、両先生が、  
総明会からは向殿会長、三浦専  
務理事、阿部クラブOB会部長  
ら役員の方々が、そしてOB会  
からは宇田川名誉会長、小林、  
倉島両相談役、ならびに会長、  
副会長以下の役員にお集まりい  
ただけました。

式では、高橋OB会会長よ  
り、「我々OBが頻りに母校を  
訪れ、現役部員諸君を指導でき  
れば良いのですが、なかなか難  
しいものです。諸君に力をつけ  
てもらい、良い成績をあげても  
らいたいというOB一同の願い  
を込めて、練習用具を贈ること  
にしました。

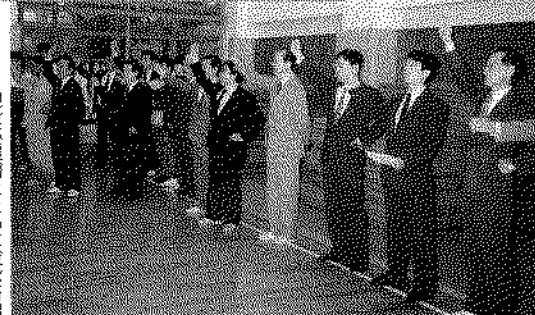
OBとしてあえて厳しい事を  
言わせてもらえば、現役の部員  
諸君のレベルはいま一歩だとい  
わざるを得ません。かつては全  
日本チャンピオンを生み出した  
実績を持つ部の伝統を引き継  
ぎ、これらの練習用具を活用し  
て実力をつけて欲しいと思いま  
す」と、後輩達への激励の思い  
を込めて挨拶した後、同会長か  
ら石崎校長先生に、次の内容の  
目録が手渡されました。

- 贈答品目
- 一 競技用公式卓球台 一台
  - 一 卓球用ロボットマシン 一台
  - 一 ネット&サポートセット 四セット
  - 一 練習用ボール 三十ダース
- 石崎校長先生、星野、下野両  
先生の御礼のご挨拶、向殿会長  
や宇田川名誉会長のお言葉の  
後、早速、寄贈された台とロ  
ボットを使いエキシビジョンが  
行われました。担当したのは、  
春季関東大学リーグ一部で全勝  
優勝したばかりの明大卓球部三

年生の栗野選手。彼の動きを手  
本に現役部員にアドバースする  
OBの声がそここに聞かれ、  
贈呈式の場合、たちまち熱の入  
った指導の場所に早変わりしま  
した。



後輩諸君のレベルアップを願って



現役応援団とともに校歌斉唱

## 『過程』のすすめ

小学館発行の『大群衆』をひも  
とくと、『過程』とは、物事  
が変化し、進行して、ある結果  
に達するまでの道筋」とあり  
ます。

一言でいうと『過程』は卒業  
記念誌であり、自宅にあっても  
大切にされる事もなく、まし  
て、十年以上経過すると本棚で  
も邪魔にされがちな一冊の生徒  
会誌です。

この冊子は「温故知新」でな  
く、まさに明治高校・中学校で  
過ごした時代そのものです。そ  
の一期一冊に、校長先生以下の  
学校関係者は当時のままの姿  
をとどめ、否、同窓生もセピア  
色に変色してはいるものの、坊  
主頭で布製肩掛けをしたままの

姿で時を経ているのです。

同窓会が昭和四十六年に発足  
した事、戦前の記事、写真、学  
舎、部活動の事...。読み直す  
と、あちこちで興味深い記事に  
出会います。

『過程』は、数年前まで生徒  
会本部にも全巻そろっていませ  
んでした。それを明高図書館担  
当の今野則子女士をはじめ職員  
の方々が、大学を調査したり個  
別に収集して、大変な御苦労の  
末、散逸した『過程』をまと  
め、現在は学校の図書館に全巻  
そろっています。

紙面の都合により、ここでは  
数ある特集や記事の中から、タ  
イトルのみを抜粋してご紹介し  
ます。

- 第一号創刊号
- 第三号 戯曲の読み方、武術放談
- 第五号 明高・明中 新旧写真集
- 第八号 消えゆく旧校舎
- 第十一号 生田探訪
- ロケソフト打ち上げ授業
- 第十四号 甲子園出場
- 第十七号 学校略史
- (中略)
- 第四十号 歴代『過程』特集
- 第四十三号 歴代校長特集
- 厚い『過程』、薄い『過程』様々  
ですが、ご自身の卒業時の『過  
程』を読み直すことをお勧めし  
ます。卒業して二十年以上過  
ぎた私たちも、『過程』を残して  
おいでよかったとの思いを今回  
新たにいたしました。

## 昭和45年卒業 明治高校 マンドリンクラブOB

青柳利夫

伊藤正秀

上野慎吾

宇田川二三雄

太田晴條

小泉宏明

柴田伸夫

西山浩

梁川彰男

## 歴史研究部

OB会

名譽顧問

伊藤 好一先生  
保坂 吉彦先生  
栗野 哲也先生

顧問

麻生 優 (25年卒)  
大橋 正爾 (28年卒)  
大塚健太郎 (37年卒)

会長

平沢 一義 (42年卒)

副会長

山形 英明 (45年卒)  
石川 俊彦 (54年卒)

幹事

鈴木勝一路 (38年卒)  
結城 康郎 (42年卒)

事業部

池田 高征 (38年卒)

会計

中山 隆司 (44年卒)  
土田 正昭 (60年卒)

会員数 二五六名

# 第33回総明会にご寄付いただきました

## 金二十万円

◆割烹 中田屋

西新井大師門前

TEL 〇三三三九〇一・二九三三

中田貢弘(三十七年卒)

## 金二十万円

◆男坂クラブS四四年  
卒OB会(四四年卒)

## 金五万円

◆(株)東京富士カラー  
代表取締役

山浦晟暉(二十九年卒)

## 金二万円

◆元明中高校長

中野隆彰先生

◆故・関口恒雄の  
ご家族より

(四十五年卒)

## 金一万五千円

◆エーゼット(株)

服部雄二(四四年卒)

## 金一万円

◆(株)大洋社

佐藤 達二(三六年卒)

◆稲田革渡所

稲田 俊秀(三十七年卒)

◆新興自動車工業(株)

浜名 邦男(三十八年卒)

◆(株)米山富次郎商店

米山 廣昭(四〇年卒)

◆東京スポーツ新聞社販売局  
名倉 昇(四一年卒)

## 金一万円

◆獅子の会  
(四五年卒)

安達 政弘

荒川 公一

荒木 潔

飯塚 晃

池上 繁夫

石井 総一郎

石川 雅経

磯部 進

一ノ瀬 和美

伊藤 正秀

伊藤 慈彦

伊藤 直喜

岩本 満

上野 隆史

薄雲 輝弘

梅津 光市

大石 喜代司

大江 勝

太田 晴條

太田 繁太郎

岡野 憲正

小野 良穂

笠原 均

加藤 順二

加藤 真穂

金原 章二

金平 正彦

川口 喜正

河田 勇

神田 文男

岸井 隆行

北島 一弘

久野 美和

久保田 誠

毛塚 剛志

小出 俊介

小林 佳典

小林 清蔵

小山 雅弘

近藤 彰克

後藤 義明

齊藤 富士雄

齊藤 裕

榎原 光一

佐久間 滋

桜井 久昭

笹本 和義

椎野 悟

清水 正博

志村 辰雄

菅原 茂延

鈴木 一雄

高杉 秀人

高梨 忠義

高橋 信一

高橋 功

高橋 祐三

高松 和孝

田口 正博

武田 仁

伊藤 重夫

(旧・竹ノ内)

玉本 幸三

千葉 訓康

筒井 森彦

寺田 雄二

豊田 潔

中尾 淳一

中川 秀雄

中川 勝之

中里 信一

中島 敬一

中島 敏郎

中野 和博

中村 裕次

中村 泰司

中村 信也

成田 芳博

新倉 章次

二瓶 清美

野上 昇一郎

野島 和博

橋本 憲一

林 良行

原 敏明

春木 博

平沼 正二

平田 幸彦

平沼 孝之

比留間 竹郎

福田 豊

藤掛 聖二

藤城 良友

宝水 富雄

星野 勲

前田 茂夫

松川 芳久

松本 勝彦

的場 真一

三角 彰義

水谷 裕則

三宅 裕司

村松 恒至

茂木 喜明

茂木 正男

森 正男

山形 英明

山崎 宏

山本 秀男

山本 静孝

山本 彰

山本 龍三

横田 圭二

吉田 繁夫

吉田 亮一

吉田 耕太郎

由本 俊昭

米長 博

渡辺 茂

和田 利仁

## 第3回総明会チャリティーゴルフ大会開催

平成9年4月1日(火)武蔵丘ゴルフコース

### 団体戦は41年卒業学年に

総明会ゴルフ大会も今年で第33回を迎え、平成9年四月一日、埼玉県武蔵丘ゴルフコース校(母の寄付)の話し、関係各位においで行われました。今回も、各学年・クラブ対抗の他に、先生方やPTAのチームにも参加していただき、会員相互の親睦のみなす学校とのコミュニケーションもより充実したものととなりました。

当日は晴天に恵まれ、参加者九十三名は、アウトとインに分かれ元気なスタート。ホールアウト後は、お風呂で疲れを癒し、表彰式を兼ねた懇親会に行われ、本大会の目的も無事取り行なう事ができ、終宴となりました。



個人	
優勝	栗田 茂(44年卒)
準優勝	山田 伸夫(先生)
DC賞	岩崎(41年卒)
	橋本(41年卒)
	堀越(40年卒)
	杉田(36年卒)
	石井(43年卒)
NP賞	小川(44年卒)
	高杉(43年卒)
	福島(34年卒)
	清水PTA
	瑞(46年卒)
	石川(永泳部)
	瑞(46年卒)
ベスト	橋本(41年卒)
団体	
優勝	橋本・矢野・佐藤・岩崎(41年卒)
準優勝	栗田・岩崎・阿久沢・秋山(44年卒)
3位	佐藤・岡崎・杉田・泰(36年卒)
ブリー	清水・山田・吉田・谷先生



事務局長  
荒川長一郎



喫煙具のことならおまかせ下さい。  
名入れ、特注などなんでもご相談下さい。

**LANCEL**  
Burberrys



バーバリーライター発売元  
ランセルライター発売元  
チルチルミチル関連商品発売元  
その他各種喫煙具製造販売

**東京パイプ株式会社**

〒105東京都港区浜松町1-15-4  
TEL03-3436-1588 FAX03-5473-0201

代表取締役 **山本 静孝**  
(S45年卒)

E-mail: shizu@qa2. so-net. or. jp

## 川口明高会

毎年2回(2月・8月)開催

歴代会長	初代 大熊 康治	昭29年卒
	2代 目良 昇	昭31年卒
	3代 久松 勇	昭33年卒
	4代 天野 洋一	昭35年卒
	5代 荻野 布昌	昭40年卒
現会長	6代 石井 次男	昭43年卒
事務局	石井 君忠	昭57年卒
TEL	〇四八一二九四一三七八〇	
会員数	一五〇名	

## 祝 総明会第33回総会

# 明高バスケット部 OB会

## 明治大学体育会フェンシング部

監督	38年卒	新井 智勝
助監督	40年卒	井原 健詞
コーチ	40年卒	上田 和夫
総明フェンシングクラブ(OB会)		
42年卒	伊藤 秀文	
42年卒	石神 修司	
43年卒	片岡 正美	
45年卒	中村 信也	
45年卒	小林 清歳	
45年卒	玉本 幸三	
46年卒	森 暁二郎	

## 祝 波の会一同

(S45年高I, S46年高II, S47年高IIIのいづれかに在学した人の会です)

☆月例会 毎月第3日曜日午後7時30分~10時 会費3,000円

☆波の会 毎年11月23日午後1時~4時 会費10,000円

場所「キングステーブル」荒川区南千住7-3-16 TEL03-3802-4129

(大沢保男君の店)

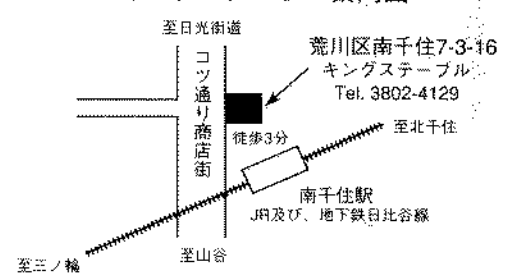
奮ってご参加ください

波の会会長  
実行委員長

尾崎 富永

幸平 栄之進

キングステーブル案内図



## 祝 第33回総明会開催

昭和47年3月卒業

# 四七四七同志酔会一同

昭和二十四年卒  
小坂法律事務所

弁護士

小坂 嘉幸

〒100 台東区上野三丁目一七十八

TEL 三三三三六〇三二

FAX 三三三三六〇三七

昭和三十八年卒

銀座シティ法律事務所

弁護士

谷 正之

〒100 中央区銀座一丁目一八

TEL 三五六一八六八六

FAX 三五六一八六八五

昭和三十七年卒

新麹町法律事務所

弁護士

福島 啓充

〒100 千代田区麹町四丁目一五

TEL 三三四一〇五一一

FAX 三三四一〇五一一

昭和四十二年卒

結城康郎法律事務所

弁護士

結城 康郎

〒100 港区虎ノ門二丁目一六

TEL 三五〇六一二五

FAX 三五〇六一二五



<p>昭和四三年卒 佐久間法律事務所 弁護士 佐久間 洋一</p> <p>〒104 中央区銀座五丁目八番五 TEL 五五八八・六六四六 FAX 五五八八・六六四八</p>	<p>昭和四四年卒 成富総合法律事務所 弁護士 田中 等</p> <p>〒100 千代田区丸の内二丁目一 丸の内八重洲ビル四〇八区 TEL 三三二一・五一一五 FAX 三三二一・六一〇四</p>	<p>昭和四七年卒 株式会社 ムーンカーセールス 代表取締役 月村 嘉男</p> <p>〒145 大田区西馬込2-30-3 TEL 03-5742-0011</p>
<p>昭和四八年卒 (株) 溜屋 近藤舞奈 代表取締役 近藤 俊彦</p> <p>〒120 足立区千住五丁目一八 TEL 三三八一・二五五八 FAX 三三八一・二〇八九</p>	<p>昭和四七年卒 明高庭球部OB会 会長 荒井 重雄 (昭和28年卒) TEL 03 (3666) 7527 連絡先幹事 鈴木 信夫 (昭和47年卒) TEL 03 (3886) 5884 春のOB会ゴルフコンペ・秋の親睦会及び ホッケー杯振るってご参加下さい。</p>	<p>昭和四五年卒 株式会社 東栄 (帽子製造卸) 社長 土田 饒 専務 土田 正昭</p> <p>〒103 中央区日本橋馬喰町一丁目三十五 TEL 三三六四・四〇八二 FAX 三三六四・四〇三三</p>
<p>昭和四七年卒 五木田・三浦法律事務所 弁護士 三浦 雅生</p> <p>〒104 中央区銀座五丁目一五 第一御幸ビル六階 TEL 三三二五・九一九〇 FAX 三三二五・九一九一</p>	<p>昭和四五年卒 店舗設計施工 (株) きこりたちファースト 代表取締役 一ノ瀬 和美</p> <p>〒151 渋谷区千駄ヶ谷一丁目一五 TEL 三三九七・九一九四 FAX 三三九七・九一九三</p>	<p>昭和四七年卒 株式会社 シティ・ハウジング 代表取締役 佐藤 仁 (昭和39年卒業)</p> <p>本社 東京都大田区西桃谷4-28-14 Tel.3742-7177 Fax.3742-8207 桃谷本店・蒲田東口店・大森店・五反田店・雪が谷店</p>


祝 第33回総明会総会及び懇親会

昭和39年卒 「一一七会」 会員一同

会長 武村隆二

<p>明高柔道部OB会</p> <p>相談役 昭和三〇年卒 福田 二郎 昭和三一年卒 佐藤 康明</p>	<p>顧問 昭和三五年卒 大村 勝利 昭和三五年卒 渡辺 治 昭和三六年卒 鳥海又五郎</p>	<p>会長 昭和三八年卒 小川 洋一</p>	<p>副会長 昭和三七年卒 中谷 捷治 昭和三八年卒 井上 和洋 昭和三九年卒 中野 一郎</p>	<p>幹事長 昭和三九年卒 中本 義行</p>	<p>幹事 昭和三九年卒 佐々木 隆夫 昭和四〇年卒 辻井 俊一郎 昭和四一年卒 中島 平人 昭和四一年卒 金子 淑夫 昭和四二年卒 市 倉 務 昭和四四年卒 今井 振二 昭和四四年卒 加藤 木祐司 昭和四五年卒 長野 克彦 昭和四八年卒 濱本 義典 昭和五〇年卒 近藤 吉彦 昭和五一年卒 小山 美津男 昭和五二年卒 大谷 晴彦</p>
--	---	----------------------------	---	-----------------------------	---

<p>昭和三〇年卒 財団法人 東京都柔道連盟 専務理事 福田 二郎</p>	<p>昭和三一年卒 (株) 丸吉技販 代表取締役 佐藤 康明</p>	<p>昭和三六年卒 財団法人 全日本柔道連盟 事務局長 鳥海又五郎</p>	<p>昭和三七年卒 中谷 捷治</p>	<p>(株) 丸水商店 昭和三八年卒 取締役社長 小川 洋一 専務取締役 小川 秀次</p>	<p>昭和三八年卒 タワシショップ イノウエ 井上 和洋</p>	<p>昭和三九年卒 (株) 日本工業検査 中本 義行</p>	<p>昭和三九年卒 代表取締役 中野 一郎 部長 佐々木 隆夫</p>	<p>昭和四〇年卒 日三製造 辻井 俊一郎</p>	<p>昭和四一年卒 中島畜産食品(株) 代表取締役社長 中島 平人</p>	<p>昭和四八年卒 四国商事(株) 濱本 義典</p>
---	--	---	-------------------------	--	--	--	---	-----------------------------------	---	-------------------------------------



運輸大臣登録一般旅行業第57号 JATA会員

## 総明会と提携の旅行会社です

親睦旅行・社員旅行・家族旅行などお気軽に  
ご用命・ご相談ください。  
担当者からご連絡・お問い合わせさせていただきます。

一お問い合わせは最寄りの各支店担当者まで一

- 浅草支店  
〒111 東京都台東区花川戸1-2-6 中博ビル6F  
TEL 03-3847-2750 担当: 加納 浩章
- 新宿支店  
〒160 東京都新宿区新宿1-36-4 丁字屋ビル8F  
TEL 03-3356-3881 担当: 箱崎 彰良
- 越谷支店  
〒343 埼玉県越谷市弥生町12-1 東武ギフトサロン2F  
TEL 0489-65-9914 担当: 中田 吉秋



昭和42年卒  
新村秀男

中華ファミリーレストラン



CHINESE CASUAL RESTAURANT  
**孫悟空**

細田店 葛飾区細田1-15-6  
Tel.(03)3650-0059  
行徳店 市川市入船1-27  
Tel.(0473)99-0059

## 祝 第33回総明会総会

明治大学附属明治高等学校応援団OB会

会長 小田川 玉城(昭和25年卒)

明雪会

明治高校・中学入会部OB会

会長 若松 弘昌 (昭和三十九年卒)

副会長 米山 廣昭 (昭和四十年卒)

堀 真寿 (昭和四十六年卒)

名誉顧問 水落 八郎

顧問 大津富士男 (昭和二十八年卒)

佐藤 健一 (昭和三十一年卒)

顧問先生 笹倉 康夫

西村 英之

浦田 敏則

土岐 明利

幹事 大出 育男 (昭和三十一年卒)

田村 暢朗 (昭和三十一年卒)

山田 和孝 (昭和三十六年卒)

井上 進治 (昭和三十八年卒)

山本 一雄 (昭和四十年卒)

堀 直樹 (昭和四十六年卒)

服部 憲一 (昭和五十年卒)

事務局 五十嵐公一 (昭和五十四年卒)

伊藤 真之 (平成三年卒)



### ナチュラルは元祖

当社では防腐剤・着色料無添加のナチュラルフードの開発に10数年前から取り組んできました。そして昭和63年、国産ドッグフードとしては初のナチュラルフード「ミラクルドッグフード」を発売いたしました。この技術と経験を活かして生まれたのが「ラムチャンドッグフード」です。本品はラム&ライス配合の低アレルギー健康食で、愛犬の生育段階に合わせて選べます。

株式会社 **ニチドウ**  
東京都葛飾区西新小岩4丁目37番9号

37年卒 吉田 信行  
38年卒 増田 利明

年齢とともに減る「ビフィズス菌」

赤ちゃんの時は80%  
60歳になると、わずか1%

ビフィズス菌を増やす熟年世代の健康食品

**SODビフィズス**

SOD様作用成分+マイクロカプセルビフィズス菌(特許済)

「ビフィズス菌」が健康によいことはよく知られています。でも、このビフィズス菌、実は胃から飲んでも、胃酸によって大部分が死滅してしまい、肝心の「腸」にはほとんど届きません。そこで、確実に腸まで届くように、バイオテクノロジーを駆使して開発されたのが、この「SODビフィズス」です。特許製法により、生きたビフィズス菌をマイクロカプセルに包むことで胃の中で死滅することなく確実に腸まで届いて、年齢とともに減少する腸内のビフィズス菌を増やします。さらに、これも肝臓を過ぎると体内での生産量が減少し、そのために老化が始まるといわれる「SOD」と同様の作用を持つ米胚芽抽出成分を配合した、熟年世代のための機能性健康食品です。1日2包を目安に召しあがり、健康で快適な日々のためにお役立て下さい。

日動食品株式会社

気になる臭い・解消。  
食べてエステ

SOD様食品  
大豆・米胚芽成分が  
コレステロールを  
分解します。

健康

快腸

毎日のお通じは、快適な  
腸のパロメーターです。

美容

こんな方にお薦めします。

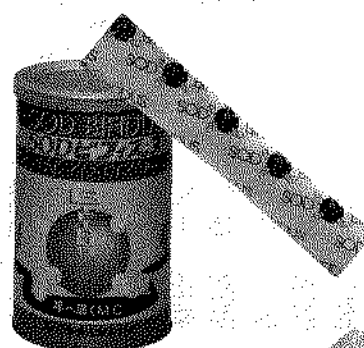


●おなかのゆるい方 ●便秘家 ●介護を必要とするお年寄り ●皮膚の弱い方



●便秘がみの方 ●美容に

「SODビフィズス」  
【A】105-003-01 1缶 8,000円(税込)  
【B】105-003-02 3缶 会員特価19,200円(税込)  
●1缶40包入り●送料/712円



代表取締役 吉田 信行 (37年卒)



# 祝 第33回総明会総会 男 坂 ク ラ ブ

昭和44年卒業

第32回総明会総会におきましては、皆様のご協力を  
いただき大変ありがとうございました。御礼申し上げます。

おかげさまで15周年！

スウェディッシュポップ、デトロイトテクノ、音響派/サイファイ、トリップホップ  
等の同時代音楽からプログレ、現象、ボサノヴァ/BPM、ジャズ、エスノ、クラ  
シック、ブラック、レゲエ、ロック全般まで、幅広い品揃えでお待ちしております

## JANiS



JANiS 千代田区神田小川町3-20 増淵ビル2~3F  
Tel(03)3291-9578・Fax(03)3294-0367  
営業時間：AM11:00~PM8:30(年中無休)

JANiS2 千代田区神田神保町1-22 高橋ビル1F  
Tel・Fax(03)5281-0921  
営業時間：AM11:30~PM7:30

昭和五十二年卒  
水利用設備  
環境衛生協会  
大熊 久之  
常任理事

昭和五十六年卒  
公園の前の  
パン屋さん  
開発 武志  
〒123 足立区谷在家一丁目一四  
TEL 三九九〇一五八八

## 明潮会

昭和四十六年卒 同期会

岡田 弘	小池 恵一	小島 隆	桜井 種明	君塚 浩一	神辺 光寿	大塚 信彰	小野田 健治	庄野 國彦	橋本 和彦	菊池 満	森 暁二郎	塙 直樹	高橋陽一郎	宮林 英次	國井 勇二	白崎 義男	橋本憲司郎	杉澤 正利	岩城 健	木村 茂	清水 稔	斉藤 公義	金子 敏一	長篠 利行
------	-------	------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	-------	-------	-------

昭和四十四年卒  
藤井 純一

昭和四十五年卒  
藤井 春樹

花と鉢物の  
ご用命・ご相談を承ります  
株式会社 本トマックガーデン  
昭和四十五年卒 平田 幸彦  
〒100 港区赤坂四丁目一六赤坂ハイム  
TEL 三五八九一〇六八七

昭和四十四年卒  
(株)尾崎歯切工場

尾崎 哲

〒130 墨田区亀沢  
TEL 三六八三三三三三  
FAX 三六八二四二七四七

昭和五十二年卒  
炭火串焼き 串の味

小池 良通

〒110 台東区上野  
TEL 三三八二七五五三三

●串焼きコース各種あり

興亜火災海上保険代理店  
有限会社 建雄社  
代表取締役 尾崎 幸平  
(四十八年卒)

監査役 尾崎 雄二  
(五十二年卒)

〒111 台東区浅草五丁目一三  
TEL 五八〇三三七七〇  
●建築は尾崎建設(株)  
TEL 三三八七四一六四二六

## 明駿会

昭和三十八年卒

井口 亘弘	椎橋 祥介	坂下 義夫	江俣 輝紀	山鹿 輝康	矢島 芳郎	矢口 博康	佐藤 文彦	佐藤 達二	打越 通雄	岩沢 光紘	浅古 忠男	山田 和男	谷 正之	加藤 眞義	
石川 守也	納米 秀明	向殿 政男	池田 実	稲田 国昭	武田 雅夫	任田 武夫	村田 保広	米田 達彦	吉田 光夫	片山 智士郎	神崎 進	野村 明義	増田 敏男	矢嶋 芳雄	山田 和孝

## 教室・処 ば 手打うどん

駒形

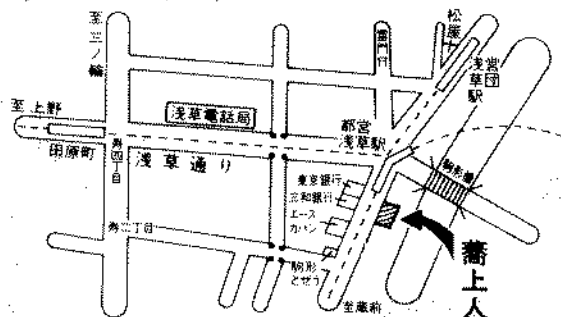
蕎 人  
(そば にん)

上 しょう

人 にん

昭和45年卒  
平沼 孝之

〒111 台東区駒形2-7-3  
TEL 3841-7856



## 明卓OB会

(明卓卓球部OB会)

名誉会長  
宇田川雄弘 昭和三〇年卒

相談役

西村 昭 昭和三〇年卒

井澤 勝彦 昭和三二年卒

小林 功明 昭和三四四年卒

倉島 孝夫 昭和三七七年卒

会長  
高橋 正信 昭和三八八年卒

副会長  
佐藤 信征 昭和三九年卒

秋田 直好 昭和四〇年卒

遠藤 裕司 昭和四七年卒

佐藤 明弘 昭和五五年卒

幹事  
山崎 泰夫 昭和四二年卒

常任幹事  
新井 利章 昭和四〇年卒

堀川 貴司 昭和四三年卒

荒川 公一 昭和四五年卒

岩田 順義 昭和四六年卒

前原 正浩 昭和四七年卒

田中 武志 昭和四七年卒

佐藤 正幸 昭和四八年卒

田中 富良 昭和五〇年卒

渡辺 純 昭和五〇年卒

浅川 弘和 昭和五一年卒

小井土 功 昭和五一年卒

富樫 輝良 昭和五一年卒

鳴海 秀幸 昭和五四年卒

近藤 正宝 昭和五五年卒

西須 秀明 昭和五五年卒

川野 秀一 昭和五七年卒

西山 大興 昭和六〇年卒

\*本年のOB会は、十月十一  
五日に開かれます。多数の参  
加をお待ちしております。  
(毎年、案内の届かない方は  
幹事にご連絡ください)

# カローラⅡ当たれば、父さん人気者。

第33回総明会〇×クイズで当たります。

スピードはひかえめに。シートベルトは忘れずに。

人へ。社会へ。地球へ。TOYOTA

## 愛と青春のクルマ、揃ってます。

### WINDOM

サクセス・ウインドム—  
仕事は、人を幸せにできる。



PHOTO/ウインドム3.0G  
(オプション装着車)

### COROLLA SE-Saloon

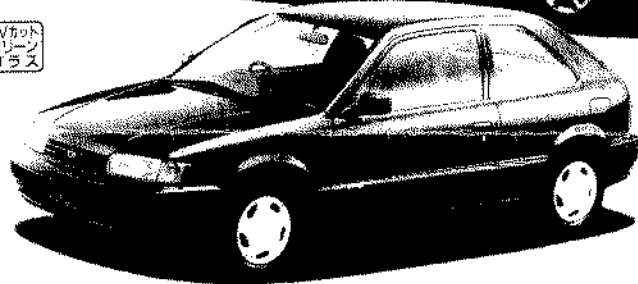


PHOTO/カローラセダン1.5 SE-Saloon

### GRACIA STATION WAGON



### TOWNACE NOAH



a town basic corolla-II

特別仕様車 SUPER WINOY



PHOTO/特別仕様車スーパーWINOY

THE SPORTS OF TOYOTA

## Supra

### SZ-R



PHOTO/SZ-R  
(オプション装着車)



### FIELD TOURER



PHOTO/フィールドツアーースタンドードルーフ ツインムーンルーフ仕様

ウインドム グラシア カムリ スーブラ セリカ カローラ カローラⅡ RAV4 L エスタリムシタ 970X-3 ノア カローラバン

### トヨタカローラ埼玉株式会社

埼玉県上尾市日の出3-2-28  
☎ 048-771-5941(大代表)

### トヨタカローラ山梨株式会社

山梨県中巨摩郡竜王町富竹新田1941  
☎ 0552-76-6211(大代表)

昭和45年卒

取締役社長

茂木 喜明



# 第33回総明会

【会費】 一般会員 10,000円  
(大学卒業以上60歳まで)  
同伴家族 5,000円  
学 生 7,000円  
61歳以上の先輩 8,000円

## プログラム

●●●●●●●●●● 平成9年10月18日(土) 於 東京プリンスホテル ●●●●●●●●●●

内 容	時 間	会 場
講演会	16:00~16:45	ゴールデンカップ(3階)
総 会	17:00~17:30	ゴールデンカップ(3階)
懇親会	17:50~20:00	ガーデンアイランド(前庭)

### 講演会案内/会場ゴールデンカップ

15:45 開場  
16:00 講演開始  
講師: 片岡龍夫氏(大正10年卒業 総明会名誉顧問)  
16:45 講演終了

### 総会案内/会場ゴールデンカップ

16:50 開場  
17:00 総会開始  
17:30 総会終了

### 懇親会案内/会場ガーデンアイランド

17:20 受付開始  
17:40 ガーデンアイランドに入場 ☆マンドリン演奏  
17:50 懇親会開始 司会開始  
18:00 開会の辞 開会の挨拶・来賓の挨拶等  
18:15 歓談タイム ☆マンドリン演奏  
18:30 「これはお値打ち!」チャリティー抽選会  
※当たった方はチャリティーボックスにご寄付をお願いします。  
18:50 歓談タイム ☆マンドリン演奏  
19:10 「カララII」が当たる〇×クイズ  
カララII3ドアスーパーウィンドー車両現金販売価格120万円相当  
(付帯費用・税金等の約25万円は自己負担となります)  
19:30 校歌斉唱(応援団・吹奏楽班)  
19:50 閉会の辞 閉会の挨拶・次学年紹介等  
20:00 懇親会終了 恩師・来賓退場



交通のご案内  
車/羽田空港から首都高速道路芝公園ランプ経由で15分。  
電車/JR山手線有明駅(箱崎)から徒歩10分。都営地下鉄三田線御成門駅から徒歩1分。都営地下鉄三田線芝公園駅から徒歩7分。地下鉄日比谷線神谷町駅から徒歩10分。

**東京プリンスホテル** 東京都港区芝公園3-3-1 ☎105  
TEL.(03)3432-1111

**明治大学**  
PTA役員  
会長 金井 靖雄様  
副会長 風間 春美様  
副会長 出沼 正様  
会計 藤井久美代様  
教務委員長 古川 妙子様  
高三委員長 猪飼 洋子様  
高三副委員長 岡安 節子様  
高Ⅲ委員 千葉 範子様

**武蔵会**  
会長 高橋 晴樹様  
副会長 小堤 次男様

**中野高校同窓会**  
恩師  
伊藤 好一様  
栗原 圭介様  
後藤 朋智様  
松本理三郎様  
水落 八郎様  
村野 圭吾様  
岸 哲利様  
大野 正隆様  
西原 春雄様  
小柴 仁美様  
小西 哲男様  
浦田 敏則様  
田村 孝廣様  
山田 伸夫様  
栗野 哲也様  
田中徹太郎様  
桜井 正美様  
清水 紀夫様  
石崎 章生様

**明治大学**  
理事長 岡村 了一様  
学 長 栗田 健様  
学 長 戸沢 充則様

御出席予定の  
御来賓の方々

PRGR



GOLF SHOP

“ゴルフクラブベストセレクトーズ”

ワン オン ワン クラブ  
**ONE ON ONE CLUB**

大石 喜代司 (45年卒)

大石 隆司 (48年卒)

御徒町本店 〒110 東京都台東区上野6-1-6  
御徒町グリーンハイム  
TEL.03-3831-0076 FAX.03-3831-0054  
日比谷シティ店 〒100 東京都千代田区内幸町2-2-3  
日比谷シティ日比谷国際ビル1階  
TEL.03-3502-0171 FAX.03-3502-0054